

JICAの研修生に六甲山地における砂防事業の取り組みを紹介

～ JICA「災害に強いまちづくり戦略コース」と
「総合防災コース」研修～



～ 六甲砂防事務所～

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が行っている研修の一環として、パキスタンなど全13カ国から来日されている「災害に強いまちづくり戦略コース」と「総合防災コース」の研修生が六甲砂防事務所を来訪されました。六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組みなどの説明とともに、土石流模型実験装置を使って砂防堰堤の効果を確認していただきました。

概要

日時：令和5年1月25日(水) 14:00～16:00

場所：六甲砂防事務所

主催：JICA

参加者数：13名(パキスタン、マーシャル、チリ、ガイアナ、ナイジェリア、セルビア、インドネシア、タイ、バングラデシュ、ネパール、スリランカ、ブラジル、イラン)

事業概要説明や土石流模型実験体験を行いました



事業概要説明では、六甲山地で実施している砂防堰堤の整備や、六甲山系グリーンベルト整備事業に取り組んでいることを説明しました。また、土石流の発生メカニズムや砂防堰堤の効果などを土石流模型実験で確認してもらい、土砂災害の恐ろしさや砂防事業の重要性、必要性について知っていただくことができました。



事業概要説明の様子



土石流模型実験



土石流模型実験動画は、左記リンク先のHPよりダウンロードが可能です。なお、動画の容量が大きいため、Wi-fi環境下でのダウンロードを推奨します。



お礼の言葉をいただき記念撮影！

【研修生から寄せられた質問】

六甲砂防事務所が施工してきた砂防堰堤は現在、何基ありますか。今後も作る必要がありますか。

2022年3月末時点で、559基あります。今後も施工する必要があります。

土石流の流れが変わることはありますか。

土石流は谷に沿って流下するため、流れが大きく変わることはありません。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL: 078-851-0535

